

ケース③ 川内小を現状維持とする場合

年度 学校名	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	R19 (2037)	R20 (2038)
川内小														
相生小							▶ 統合 【場所】相生小							
天沼小														

○川内小 【場所】川内小

- ・ 現状維持とする場合、令和 7 年度時点で既に単学級が生じているが、その後、令和 8 年度から令和 21 年度までの 14 年間も、単学級が生じる見込みである。
- さらに、令和 22 年度以降、複式学級が生じる見込みである。

《組合せ・統合時期・統合後に使用する校舎》

○相生小、天沼小 【場所】相生小

- ・ 相生小、天沼小の単学級を改善できる。
- ・ 令和 32 年度まで、望ましい学校規模（12 学級以上）を確保できる。

【場所】・施設の状況：既存の校舎を使用し、対応することができる。

※ 参考【16区 年齢別（各歳）男女別人口（令和 7 年 3 月末時点）】

年齢 人数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
総数	12	13	19	24	21	43	35	30	38	44	36	50	41
男	4	7	8	8	11	25	20	15	18	22	12	30	22
女	8	6	11	16	10	18	15	15	20	22	24	20	19

※桐生市ホームページ「年齢別（各歳）男女別人口（令和 7 年）」参照

【中学校】

ケース2 [令和 13 年度] 相生中、川内中の 2 校が統合

年度 学校名	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	R19 (2037)	R20 (2038)
相生中							▶ 統合 【場所】相生中							
川内中														

《組合せ・統合時期・統合後に使用する校舎》

○相生中、川内中 【場所】相生中

- ・ 川内中の単学級を改善できる。
- ・ 令和 18 年度まで望ましい学校規模（9 学級以上）を確保できる。

なお、令和 19 年度から令和 32 年度までの 14 年間は、望ましい学校規模（9 学級以上）ではないが、1 学年 2 学級以上を確保できる見込みである。

【場所】・施設の状況：既存の校舎を使用し、早急に対応することができる。